

「ICTを活用した群馬ならではの新しい学び」とは

自分の頭で未来を考え、動きだし、生き抜くための力（始動人）の育成に向け、ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実を図る空間的・時間的な制約を超えた学び

※「空間的・時間的な制約を超える」とは

学校・家庭・地域社会などの離れた場所や人々、各所における学習内容や活動などが、リアルタイム・オンデマンド、双方向・一方向などに関わらず、様々な形態で横断的・継続的につながる状態にあること

「ICTを活用した群馬ならではの新しい学び」の概要イメージ

学校における学び

「主体的・対話的で深い学び」の実現

- 思考力・判断力・表現力等の育成
（「はばたく群馬の指導プランⅡ」をモデルとした授業など）
- 基礎的・基本的な知識及び技能の習得・定着
- これからの社会で必要な新たな価値を生み出す教育活動
（プログラミング教育、STEAM教育など）
- 各自の課題の追究・解決

各教科等の指導におけるICTの効果的な活用

<教師の役割>

- ・ 子供一人一人の学びを最大限に引き出す
- ・ 子供の主体的な学びをより一層支援する

<指導の個別化>

- ・ 個々の児童生徒に応じて異なる方法等で学習を進めること

<学習の個性化>

- ・ 個々の児童生徒の興味・関心等に応じた目標に向けて学習を深め、広げること

協働的な学び

個別最適な学び

資質・能力の育成

環境

- 企業や専門家との連携
- 地域社会との連携
（調査、オンライン見学など）
- 他校や海外などの交流
- オンライン授業（災害や感染症発生時における学校の臨時休業等も含む）
- 児童生徒の特性に応じたきめ細かな対応
（特別支援教育、外国につながる子供、不登校児童生徒）

協働的な学び

個別最適な学び

- 個々の興味・関心に応じた発展的な学習

ソフトウェアの有効活用

個別最適な学び

- 基礎的・基本的な知識及び技能の習得・定着
（オンライン教材やAIドリル等の活用）

オンラインによる学び

放課後・家庭における学び